

ただいま連載中!

経営革新する元氣印企業

検索

<< 前の記事 | 次の記事 >>

●バックナンバー

- 人を生かす経営Ⅱ
- 「第二創業」をめざして
- 人を生かす経営
- 企業探訪の旅

●MENU

- このサイトについて
- メルマガ配信
- ご意見・ご感想



携帯対応について



シリーズインデックス:経営革新する元氣印企業

**【第34回】良い地域であるために、会社ができることは何か (株)やすむら 社長 安村義光氏(兵庫)**  
(2009.05.13)



(株)やすむら(安村義光社長、兵庫同友会会員)は新築、増改築、リフォーム、店舗改装を手掛けています。安村氏は島根県生まれ、中学卒業後、単身で兵庫県に移り、大工として働きました。同社の経営理念「選ばれ 役立ち 喜ばれてこそ 会社の発展・永続となる」はさまざまな形で具体化されています。

**カンボジアの孤児院を支援**

そのうちの一つにカンボジアの孤児院支援があります。「地域が平和でなかったら何の商売も成り立たない」と話す安村氏、内戦で親を失った子どもたち、読み書きができない子どもたちのために孤児院を建てる取り組みに世界連邦運動協会を通じて13年前から携わっています。



同社の裏山から切り出してきた竹筒にカンボジア孤児院設立の紙を貼り、公民館や企業や家庭にも配付しました。はじめはなかなか集まりませんでしたが継続し、地域の人も理解してくれるようになりました。今では1年間で50万円近くの募金が集まります。カンボジアの孤児院から子どもを招いて、地元の小・中学校との交流も深めています。

**「加古川まちかどミュージアム」一人が集まる場所を作る**



また地域の資源や魅力を公開する「加古川まちかどミュージアム」(加古川観光協会が開催)にも参加しています。同社は県産材を使用したモデル住宅を公開し、プロの陶芸作家の作品を展示して楽しんでもらうなど、人が集まる工夫を凝らしています。

さらに1年半前からは県産材を使って家具や小物を作る「もく和センター」を開館しました。地域に住んでいる流木が好きな人、苔玉や陶芸、杉玉を作っている人などが足を運び、さらにその人たちが教室を開催するなど、人が集まる仕組みができています。このような活動を通して同社の認知度が上がり、受注も出てきました。

**「もりの木ネットワーク」—地域の業者の底上げを図る**

協同組合「もりの木ネットワーク」は、「兵庫の山の木で家をつくる、家をリフォームする」という目的で安村氏が中心となって3年前に立ち上げました。県産材について林業組合や県の林務課に提案や要望を出しやすく、地域の工務店や建設関連業者全体の底上げを図ることも目的でした。立ち上げてから、方々から案内が届いたり、会議に出席する機会もできるようになりました。

「もりの木ネットワーク」では、労働安全衛生の講習を行ったり、会員企業の研修

